

平成28年度第3回瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議議事録

1. 日時 平成28年9月28日(水) 14:00～15:00
2. 場所 瑞浪市役所 4階全員協議会室
3. 出席者 橋本 孝晴 (会長)
今井 浩光 (副会長)
正村 和英
小池 泰彦
加藤 守
柴田 勝久
西尾 隆吏
大竹 和夫
宮村 幸代
加藤 映里子
安藤 雅子
加納 明子
[名簿順、敬称略]
4. 事務局 梅村 修司(企画政策課長)
加藤 昇 (企画政策課企画政策係長)
柿内 博貴(企画政策課企画政策係)
5. 日程
 1. 会長あいさつ
議事事項
 2. 前回の議事録の確認について
 3. 2次評価に関する意見交換について(意見書案確認)
 4. その他

【1. 会長あいさつ】

会長 本日はご多用のところ、ご出席いただきありがとうございます。前回は、「瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略」掲載事業のうち12事業について、担当課の1次評価の説明を受けて、委員の皆様におかれましては、2次評価を行っていただきましてありがとうございました。本日は、皆さまの評価について意見交換を行い、これらの事業の実効性を高めていきたいと思っておりますので、忌憚のないご意見を賜りますようよろしくお願いいたします。

【2. 前回の議事録の確認について】

会長 議事2. 前回の議事録の確認について、事務局から説明願います。

事務局 (前回の議事録(案)について説明)

<訂正事項なし、意見なし>

会長 それでは、第2回の議事録については、これをもって確定とし、公表することとします。

【3. 2次評価に関する意見交換について(意見書案確認)】

会長 議事3. 2次評価に関する意見交換について、事務局から説明願います。

事務局 (意見書案についての説明)

各委員の意見を1事業ごとにまとめて記載しております。「産官学金労言」という各界の有識者の皆さんからご意見をいただき、今後の地方創生に反映していくという趣旨に照らしまして、推進会議としての意見を一つにとりまとめる形ではなく、各委員のそれぞれのお立場からの意見を列挙する形で案をとりまとめております。

(「移住定住促進奨励金交付事業」に関する意見)

委員 交付する商品券について、従来のプレミアム商品券と同じ名称であり、利用者が混乱してしまうため、商品券の名称を変更する必要があると考えます。

(「空き家・空き地バンク事業」に関する意見)

事務局 まず、事務局から説明いたします。概ねこの事業については、「見直し改善の上、事業を継続する」という評価をいただいております。PR方法や効果検証について課題を挙げていただいておりますので、改善をしていきたいと考えております。具体的なPR方法などのご提案はありますでしょうか。

委員 移住定住促進奨励金交付事業にも関わることですが、大変効果が高い事業であるとは思いますが、事業の周知の在り方が課題であると思います。移住定住、空き家に関する情報をとりまとめたパンフレットがあれば、今後社会に出ていく高校3年生を対象に学校での配布にご協力することが可能です。あるいは、市の担当者に来ていただければ説明の機会を設けることも可能です。必要があればご相談いただきたいです。

(「空き家等改修補助事業」に関する意見)

事務局 空き家については、改修が必要な場合が多く、重要な事業です。不動産会社に仲介に入っていただいてご協力を仰ぎながら制度を必要とする方への事業の周知を進めていきたいと考えております。

委員 一次評価にも記載がありますが、昭和56年6月以前に着工した木造住宅を対象としているところ、利用しやすい制度とするために、耐震補強後の耐震基準値を1.0から0.7と変更し、条件を緩和する方向で進めていただきたいと思います。

事務局 不動産会社と相談しながら使い勝手の良い制度にしていきたいと考えております。

(「移住定住情報発信事業」に関する意見)

委員 情報発信事業については、他の事業にも全て関連しておりますので、重要な事業であると考えます。事業を一元化してPRするなどの工夫が必要だと思います。

事務局 この事業は、先に意見交換した移住定住促進奨励金交付事業や空き家・空き地バンク事業などの制度も含めて瑞浪市の暮らしやすさをPRしていく事業になります。委託によりパン

フレットを作成しているわけですが、PRしたい対象は市内ではなく、市外でありますので、JRの中吊り広告など市外の人に知っていただけるように改良していきたいと考えております。瑞浪市外でパンフレット等が手に入るような仕組みを考えていきたいわけですが、皆さんのアイデアがありましたらお伺いいたします。

委員 高速道路サービスエリアなどでパンフレットの配布を行うのも一つの手法だと思います。

委員 JRの中吊り広告で移住定住のポスターを見たときには目を引かれました。「瑞浪市」という漢字が読めない方もいると思うので、ロゴを作成するなどインパクトを加える工夫も必要だと考えます。

会長 いろいろなツールを使って情報発信をしていただきたいと考えます。

(「東濃5市広域観光PR事業」に関する意見)

委員 観光入込客数を成果指標としており、数値的には目標を上回っているといえますが、東濃地域圏外の来客がどれだけ増えたかが明確ではなく、観光入込客数は当事業の成果指標として妥当性に疑問があります。

委員 リニア開通も視野に入れると、東濃5市のみならず、さらに広域での観光の取り組みが重要であると考えます。飛騨、高山、下呂へ観光に訪れる方が、東濃に足をとめていただけるような工夫が必要だと思います。

委員 東濃地域を発展させていくには、さらに大きな枠組みで連携を図っていかねばならないと考えます。

委員 一例ですが、化石野外学習地にトイレや駐車場が整備されておらず、せっかくの貴重な観光資源が利用しにくい状態になっていると感じます。

(「ゴルフの町みずなみPR事業」に関する意見)

委員 瑞浪市は13のゴルフ場を有しています。ゴルフ大会が継続的に行われていますが、さらに注目を得られるような工夫をしていただきたいです。

委員 瑞浪市からプロゴルファーが誕生しています。その方をお呼びするなど注目を集められ

るような取り組みを行っていただき、PRを進めていただきたいと思います。

(「婚活支援事業」に関する意見)

委員 出会いの場を求めている方に対する婚活イベントの周知が足りていないと思います。県外や市外の方も参加していただけるようなPRの工夫も考えていただきたいと思います。

事務局 イベントの周知を図り、多くの方にご参加いただくように取り組んではおりますが、出会いの場を求めている方も一歩踏み出してご参加いただくことができない方が多いと感じております。先生のOBが活動されているコウノリの会という組織がありますが、そういった婚活支援に熱心に取り組んでくださる団体がいらっしゃると参加者も増えると考えております。

(「一般不妊治療助成事業」に関する意見)

委員 必要に迫られた方は、病院内においてチラシ等をご覧になって制度をご存知だと思いますが、さらなる利用を促すためにもっと広くPRをしていただきたいと思います。例えば、学校や幼稚園などでチラシを配布していただくのも一つの方法だと思います。

事務局 ご指摘のとおり、必要な方に情報が行き届くようにPRの工夫が必要だと考えております。広報誌に補助制度の内容は掲載しておりますが、多くの委員からほとんどの補助制度についてご存じないというご意見をいただいておりますので、補助制度のPR方法を検討したいと考えております。

(「地場産業等活性化事業」に関する意見)

委員 3名の方が雇用されたわけですが、3名ともすぐに退職されたということであり、地場産業の発展につながったとはいええないと思います。

事務局 おっしゃるとおりです。3人雇用するという目標自体は達成したわけですが、事業効果があったとはいえません。しかし、地場産業の活性化、伝統技術の伝承は重要であり、事業者の自発性を喚起するように制度設計をする必要があると思います。

(「工業用地等創出事業」に関する意見)

委員 すぐに成果が出る事業ではないため、長期間の検討が必要だと思います。

委員 市内の労働者が減っており、労働者の確保に苦慮している企業もあるようです。工業用地があっても企業が進出をためらってしまうという課題があると考えます。

(「新たな事業チャレンジ支援事業」に関する意見)

委員 補助額が大きい事業ですので、補助額に見合った効果が残せているか効果検証を行い、見直し改善しながら継続していくことが重要であると考えます。

(「瑞浪ポーノパーク販路拡大支援事業」に関する意見)

委員 事業効果は高かったと思います。当事業は終了しても瑞浪市の特産品としてポーノパークのPRを継続的に続けてほしいと考えます。

委員 瑞浪ポーノパークは学生にも非常に評判が良く、東京、名古屋だけでなく、全国的な販路拡大の可能性があり、継続的なPRを図っていただきたいです。

委員 事業の継続を望みますが、ネックとなるのは事業者の生産体制の拡大であろうと思います。そういう部分で市が支援できるところはバックアップしていただきたいです。

事務局 需要ばかりが増大しすぎると供給が追いつかず値段が高騰する危険もはらんでおりますので、生産体制の充実を図るとともに、PRについては慎重に行うべきであると考えておりますので、ご理解ください。

委員 生産体制については、量についても課題ですが、生産箇所が1箇所であることが、災害等による供給停止のリスクが高いため、生産箇所を増やしていただきたいと考えます。

会長 (意見書の取扱いについて)

委員の皆さんのご承認がいただければ、本日の会議をもって議論を終了し、後日、私が

意見書を市長に提出いたします。ご承認いただけますでしょうか。

<承認>

【4. その他】

事務局

会議全体を通してご質問がありましたらお伺いします。

<質問なし>

副会長

本日は、お忙しい中、出席いただきまして、ありがとうございました。本日は、委員の皆さまの評価について意見交換を行いました。各分野でご活躍の皆さまの意見を市政に反映していただき、地方創生の一助となることを祈念して閉会したいと思います。

【散会】